



2014年11月19日

公立大学法人大阪市立大学 広報室

Email: t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学 女性研究者支援室

第4回研究者交流会

「タイムデザインを考える」を開催します

大阪市立大学女性研究者支援室は、平成26年12月9日(火)に学術情報総合センター1階 文化交流室にて、第4回研究者交流会「タイムデザインを考える」を開催します。

当支援室は、文部科学省科学技術人材育成補助事業「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」(平成25年度～平成27年度)に選定され、女性研究者の研究力向上とライフイベントによる研究中断のリスクを軽減するための取り組みを行っています。

子育てと研究を両立し、ワーク・ライフ・バランスを充実させるには、限られた時間の中で家事・子育て・研究に携わる時間を確保するなど、時間をいかに有用に使うかがとても重要です。今回の交流会では、女性研究者の子育てと研究の両立を可能にする条件を探り、労働・研究環境の整備において重要な知見を学んでいただくとともに、城西国際大学福祉総合学部 品田 知美 准教授をお招きし、家事や育児時間についてご講演いただきます。また、講演後には、本学経済学研究科 杉田 菜穂 准教授と杉田研究室のゼミ生も加わり、「家族の生活時間とワーク・ライフ・バランス」をテーマにした討論セッションを行います。本テーマに興味をお持ちの研究者・学生はもちろん、一般の方のご参加も可能です。多数のご来場をお待ちしています。

記

- 1 日 時 平成26年12月9日(火) 14:40～17:00
- 2 場 所 大阪市立大学杉本キャンパス 学術情報総合センター1階 文化交流室
(大阪市住吉区杉本3-3-138)
JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩5分・
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分
- 3 プログラム 1部【14:40～15:50】
講 演:「生活時間からつくるWLB」
講 師:品田 知美(城西国際大学福祉総合学部 准教授)
2部【16:00～17:00】
討論セッション:「WLBと無償労働時間」
進 行:杉田 菜穂(大阪市立大学大学院経済学研究科 准教授)
講 師:品田 知美(城西国際大学福祉総合学部 准教授)
討論参加者:大阪市立大学経済学部 杉田研究室のゼミ生
- 4 対 象 一般・学生・教員
- 5 受 講 料 無 料
- 6 定 員 60名
- 7 申 込 み 不 要(※当日、直接会場にお越しください。)
- 8 主 催 者 大阪市立大学 女性研究者支援室

【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学 女性研究者支援室 担当:西岡

TEL:06-6605-3661

E-mail: ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

第4回 研究者交流会

タイム デザイン を考える

日時 平成26年12月9日(火)

場所 学術情報総合センター1階 文化交流室

第一部

講演 14:40~15:50

「生活時間からつくるWLB」

講師 城西国際大学 福祉総合学部
品田 知美 准教授
博士(学術)



2001年：東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻博士課程修了 博士(学術)

第二部

討論セッション 16:00~17:00

「WLBと無償労働時間」

経済学部・杉田先生のゼミ生と講演講師のセッションを中心に、
フロアとのディスカッションを行います。

皆様のお越しをお待ちしています!!

お問い合わせ 大阪市立大学 女性研究者支援室
〈Tel〉 06-6605-3661
〈E-mail〉 ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

平成25-27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「女性研究者研究活動支援事業(一般型)」

主催：大阪市立大学 女性研究者支援室 協力：経済学部 杉田菜穂ゼミ

第4回 研究者交流会

タイム[🕒]デザイン を考える

日時 平成26年12月9日(火) 14:40~17:00

場所 大阪市立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター1階 文化交流室

講師紹介

「生活時間からつくる WLB」

講師 城西国際大学 福祉総合学部 **品田 知美** 准教授

講師プロフィール

1988年：早稲田大学を卒業後環境系シンクタンクにて研究員として勤務

1995年：東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修士課程修了

2001年：東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻博士課程修了 博士(学術)

2011年まで：立教大学、明治学院大学、日本大学、早稲田大学、亜細亜大学、駒澤大学、名城大学、椋山女学園大学・非常勤講師、
東京工業大学世界文明センター・フェローを兼任

2012年より城西国際大学福祉総合学部(子ども福祉コース)

<著書・論文等>

著書：

『家事と家族の日常生活—主婦はなぜ暇にならなかったのか』2007年,学文社.

『揺らぐ子育て基盤—少子化社会の現状と困難』2010年,勁草書房.

『近代家族のゆらぎと新しい家族のかたち』2012年,八千代出版.

論文：

『無償労働の時間配分と社会福祉政策：日本、イギリス、オランダの3カ国比較から』2007年7月,『季刊家計経済研究』(No75).

『家族の食卓と炊事時間』2009年7月,『食文化誌ヴェスタ』,No.75, (財)味の素の文化センター.

『親の子どもに対するかわりかたはどう変化したか』2011,『家族形成と育児,第3回家族についての全国調査第2次報告書第3巻』,日本家族社会学会全国家族調査委員会

<研究分野> 社会学

生活時間、持続可能なライフスタイル



お申込み・お問い合わせ先

大阪市立大学 女性研究者支援室

<HP> <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/>

<E-mail> ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp

<Tel> 06-6605-3661